

グローバル・サイエンス・コース週次勉強会「GSC+」

GSC +は、主に英語学習を行う、週次イベントである。2014年度の秋学期から2015年度までの約1年半にわたり、教職員が中心となって実施し、朝の授業前や、昼休み、5時限目以降などの時間を活用した勉強会を開催した。

2016年度からは、GSC学生リーダー会議が発足したため、学生リーダーからの要望や提案を聞き、学生リーダー主催の勉強会二つと教職員主催の勉強会の二つの計四つのGSC+を運営した。

また、秋学期の初めには、学生リーダーが約2週間にわたり日本をテーマとした発表を行い、留学生との繋がりを作るためのイベントを実施した。それぞれの企画の内容は、以下の通りである。

Movie+ 主催：GSC 学生リーダー

学生リーダーのイベントリーダーの発案により、2016年度の春学期の途中から実施している。学生リーダーの好きな洋画を本学図書館で借りて参加者全員で視聴しながら、英語の口語的な表現を学んでいる。学生リーダーは毎回配布資料を用意し、参加者に聞き取ってほしい英単語を説明したり、映画の時代背景を調べて解説するなどしており、準備にも時間をかけている。参加している学生からも「解説が面白い」という声が多く継続的に参加する学生もおり、人気の勉強会の一つとなっている。



小森くんのといっく教室 主催：GSC 学生リーダー
春学期は、「TOEIC」というタイトルで開催し、秋学期は「小森くんのといっく教室」に名前を変えて継続的に実施している。GSCの学生リーダー2名が中心となり、TOEICの問題演習を行っている。主催者が問題を選定して運営しているが、問題の解説はせずに参加者同士で議論して正答を導く形式で実施している。学生リーダーが参加者同士で教え合う雰囲気づくりに注力したこともあり、参加者の間には間違いを恐れる気持ちがほとんどなく、活発な意見交換が行われている。継続的に参加している学生がほとんどであり、特に1～2年次生は2017年1月に大学で行われるTOEIC IPの受験に向けて本勉強会を活用していた。



World Science Direct 主催：教員（総合生命科学部 中村暢宏教授）

TED や BBC Click! など、web上で視聴できる英語の科学のプレゼンテーションやニュースなどを視聴している。学生リーダーから、「リスニング力を鍛えるために、継続してほしい」という要望を受け、前年

度から継続している。理系3学部の学生が参加するため、分野が偏らないよう様々なテーマのコンテンツを選定し、上映する。ニュースを聴いた後はどんなテーマだったか、どんな単語が聞き取れたかを学生に投げかけ、参加者の理解度を確認している。

Chat+ 主催:職員(春・グローバルコモンズ職員/秋・グローバル化推進室職員)

毎回、職員が会話のテーマを決定し、簡単な日常英会話を練習する目的で開催している。学生リーダーから、「英会話の練習ができる場がほしい。また、楽しいので続けてほしい」という要望を受け、前年度から継続している。学生同士で気軽に会話の練習ができることもあり、GSC+ 開始当初から継続的に実施されている勉強会である。GSC 生だけでなく、理系3学部以外の学部生なども参加することがあり、学生の交流の場の一つとなっている。

留学生向けイベント 主催: GSC 学生リーダー

9月から留学生が多くなるため、学生リーダー会議で「留学生を迎えるイベントを作りたい」という発案があり企画された。学生リーダーそれぞれが自分たちでできる日本に関する発表について考え、以下のとおり実施した。

留学生向け昼イベント

日程	内容
9月27日(火)	京都について(おすすめの場所など)
9月30日(金)	方言
10月3日(月)	日本の御飯(お雑煮など、地域性のある食べ物の紹介)
10月4日(火)	日本生まれで、世界に広く使われている(知られている)ものの紹介
10月6日(木)	阿波踊り
10月7日(金)	Cool Japan(漫画・アニメ)

留学生の参加は見込みより少なかったが、その後の学生リーダー会議で「今度は GSC 生が海外に行ったときに日本のことを説明できるように」という目的で、このイベントを再構成して来年度実施したい」という意見があった。GSC の育成の柱の一つでもある「アイデンティティの確立」につながる取組が学生リーダーから発案されたことは、GSC の取組が実を結ぶ兆しともいえる。

